

三泉ふくし

令和6年1月9日

第53号

揮毫：渡辺将二

編集発行 三泉地区社会福祉協議会
会長 土田芳昭



人権書道教室



三泉小学校6年
令和5年7月19日・27日



全員完成です

平和でありたいね

六年
土田淳太
平和

寒河江人権擁護委員会
小学生人権書道の部
優秀賞「平和」
土田淳太

三泉小学校6年生12名は7月19日と27日人権書道教室を実施しました。どんな思いで書く言葉を決めたのかを聞いてみました。

「平和」土田淳太さんは「ウクライナ戦争が1年余り続いています。さらに日本でも北朝鮮からのミサイルもあり心配です。平和の大切さを感じています。」

「人権」土田葉琉さん「4年生の時に習いました。思いやる心を持ちたいと思います」

「希望」土田怜さん「毎日の生活を明るく希望ある日々を送りたい。」

「勇気」柴田望さん「勇気を出して励まし合う生活を送りたい。」

「生命」井上凜さん「たった一つの命を大切にしたい。」

力強く伸び伸びと書くことが出来ました。これからも相手の気持ちを大切にす
る人になって欲しいと思います。

とこしえ訪問

三泉小学校3・4年生 (令和5年12月8日)

さいしよに「春の小川」を歌ったら、とこしえのおじいちゃん、おばあちゃんがよろこんでくれていたのうれしくて、大きな声で歌いました。その次に「茶つみ」の手遊びと歌もしました。手遊びが3回もできて、おじいちゃんやおばあちゃんや3年生のほくたち

もみんな楽しめました。自分から手遊びが楽しめました。よろこんでほしいというねらいがたっせいしてよかったです。(佐藤 悠成)

「とこしえ」ほうもんのもくてきは、みんなをよろこばせることです。いろいろな歌を歌ったら、おじいちゃん



3年生とこしえ訪問

ん、おばあちゃんはともうれしそうにくれて、楽しそうでした。さいごにプレゼントのおかしをもらい、わたしもうれしかったです。自分のおじいちゃん、おばあちゃんにも、このような楽しいことをしてあげたいと思っています。(安達 結那)

「とこしえ」で「茶つみ」を歌ったときにおじいちゃん、おばあちゃんは、手びょうしをしてくれました。とてもうれしかったです。手遊びの時は、自分から行っていつしよにやりました。みんなにこにこしてうれしそうでした。「ふじ山」を歌ったときは、とこしえの人たちも歌ってくれたので、もっと大きな声になってうれしかったです。みんなによるこんでもらえて、もくひょうたっせいできました。(高橋 沙来)



4年生とこしえ訪問

ほくは、12月8日にとこしえに行きました。最初にあいさつをしてからとこしえに入りました。歌や合奏をしたら、手びょうしをしてくれたり、うれしくて泣いている人もいて、とてもうれしかったです。次に、折り紙でいっ

しよに遊びました。最初はともきんちょうしたけど、だんだん慣れてきて楽しくなりました。最後にあいさつをして帰ろうとしたら、とこしえのみなさんがおかしをくれました。とてもうれしかったです。思い出になりました。

また行くことになったら、折り紙や歌をもっと上手にできるようがんばりたいです。(後藤 勇斗)

わたしがとこしえに行つて一番心に残ったことは、「RPG」を歌っているときに、とこしえのみなさんが、手びょうしをしてくれたことです。三泉子発表会のときは、みている人は真げんに聞いてくれていました。とこしえのみなさんは、手びょうしをしてくれたのでとても楽しかったです。とこしえのみなさんに折り紙を教えてあげていたとき、わたしたちよりも早いペースでどんどん作っていたことが、すごいなあと思いました。4人のおばあちゃんにメダルをプレゼントしたら、とてもよろこんでもらえたので、うれしかったです。(渡邊 叶彩)

いろいろな交流を求めて



三泉地区社会福祉協議会
会長 土田 芳昭

先日三泉地区社会福祉協議会の研修視察で「ふれあい天童」という施設を訪れました。理事長の加藤さんから有益な話をいろいろ伺いました。その中で、高齢者が集っていろいろな話をするので認知症の進行を防げるということがあります。相手の話を聞いたり、自分の考えを話すことが脳を刺激して活性化させるからだそうです。

ウイルスの感染者はまだ見られるので、高齢者は感染リスクが高いこともあり、外出を控えたり大人数の集まりに消極的な人は多いのではないのでしょうか。三泉地区では一人暮らしや高齢者だけの家庭が年ごとに増加しています。家から一歩も出なかつたり、老夫婦だけの単調な生活を続けていると認知症の人が予想以上に増加するのではないのだろうかという不安がよぎります。コロナは恐いが認知症も恐い。私は、マスクと手指消毒液をまめに使用して認知症を遠ざける道を選びたい。

福祉子ども図画展

三泉小学校3年生
ぼくの、わたしの大好きな家族の姿



高橋 沙来 かみ切りをしているおばあさん
片桐 結愛 笑顔がすきです
後藤 隼 すいはんきをあらっているばあば
菅原 心愛 仕事をがんばっています
後藤 大翔 仕事で食べるおにぎりを作っている おじいちゃん



佐藤 悠成 仕事をしているよ
井上 桜 着物をめっているおばあちゃん
後藤 笑瑠 仕事に行く前のおじいちゃん
土田 雄大 草かりをしているおじいちゃん
安達 結那 魚にえさをあげているおばあちゃん



後藤 好美 草むしりしているおばあちゃん
菅野 陽斗 お仕事いつもありがとう
兼松 蓮 いつもお仕事ありがとう

東部地区民生児童委員協議会主催、福祉子ども図画展において三泉小学校と西根小学校の3年生が描いた作品が12月13日〜21日ハートフルセンター一階ホールに展示されました。
ぼくの、わたしの大好きな家族の姿を生き生きと描いた素晴らしい作品でした。

委員の異動

退任のみなさん
ありがとうございました。

(敬称略)

大江 芳信 (下河原民生児童委員)
秋場 秀夫 (雲河原町会長)
渡邊 豊 (中河原民生児童委員)
船田 茂幸 (上河原・道生・いずみ担当・民生児童委員)
後藤 君子 (下河原地域福祉推進委員)
軽部 悦子 (下河原地域福祉推進委員)
中村 ミサ子 (入倉地域福祉推進委員)

新任のみなさん
よろしく願います。



下河原
民生児童委員
土田 収

昨年の12月より民生児童委員となりました。私は40年間寒河江学園に奉職し、児童福祉を専門として活動してきました。その為老人関係の福祉に関しては全くの素人といえます。この1年間、様々な研修会や連絡会に参加し勉強させていただいておりますが、まだまだ解らないことだらけです。これからの活動は不十分と思いますが、徐々にではありますが、活動の幅を広げられるよう努力してまいります。



上河原・道生・
いずみ担当
民生児童委員
大泉 祥子

何もわからず民生児童委員という大役を引き受けることになり、不安ばかりのまま1年が経ちました。委員になったことで、小・中学校の様子を知ったり、多くの方と出会ったりしました。地域との関わりが増えたことは、私にとって何よりの財産です。

未熟ではありますが、身近な相談相手として、関係機関とのつなぎ役として、地域に貢献できるよう努めてまいりますのでよろしく願います。



下河原
地域福祉推進委員
渡辺 美佐子

今年4月より福祉推進委員を任命されました。民生委員の指導により何かのお宅を月に1回程度アポなしで訪問しています。

訪問していつも思う事は、手入れのしつこい季節の花が庭や玄関先で私達を迎えてくれます。呼鈴を押せばきちんと身仕度をして必ず玄関まで来て下さいます。5分程、体調や世間話をします。

私事ですが、亡母と同年代の方々に担当していますので、亡母に会いに行きたいと思っています。



下河原
地域福祉推進委員
後藤 幸子

福祉推進員の活動などの知識も実際の役割も全く分からず引き受け戸惑ってしまいましたが、ご指導を受けながら一人暮らし老人世帯の見守り訪問をしています。

いろんな研修会・勉強会があるようなので参加し活動に関する自分の知識を増やし微力ですが地域の福祉活動の手助けになればと思いますので宜しくお願いします。



入倉
地域福祉推進委員
船田 友子

私達が福祉と言うと社会福祉とか、老人福祉とか思い出されますが、私達がやる事は大きな事ではなく、身近な事からです。皆さんが言っておられる様に正にその通りだと思います。挨拶として、次に話かけ(身の回りの小さな事)などがあれば次々と話の輪が広がります。そして身近な人が大変な時には助けてあげる。これが恩送りと言うのだそうです。先輩から後輩に、後輩から先輩に恩送り、やさしい心を持つ事です。この様な小さな行動の積みかさねが大きな運動となり、そこに住民みんなの絆が生まれるのではないのでしょうか。小さな行動の一適が水面

三泉社協 役員研修会

令和5年11月15日
「ふれあい天童」
「慈恩寺テラス」



慈恩寺テラスにて

に落ちて波紋の様に広がれば、入倉から三泉に、そして寒河江市全体に拡がると思います。
福祉とは、自分とまわりの人々が一緒に幸せになる事ではないでしょうか。

編集後記

変動の令和5年

新型コロナウイルス感染症は5月8日から2類感染症から5類感染症に移行し、生活様式が以前に戻りつつあります。2年前にはマスク販売に早朝より並んだことを思い出されます。今年の11月頃からはインフルエンザが流行してコロナ感染症と見分けが難しくなりました。今後とも三密は守って行きたいものです。

ロシアのウクライナへの軍事侵攻が2月2日からすでに1年以上が過ぎましたが終息に向かう動きは全く見えません。また10月11日にはイスラエルとハマスの戦争が始まり、多くの民間人が犠牲になっております。2つの争いは一日も早い解決を願うものです。

今年の夏は記録的な猛暑の影響で県内の「一等米」の比率が54%と大幅に落ち込み昨年同じ時期と比べて40%ポイント以上の大幅な落ち込みでした。長かった夏、そして秋はあつという間に終わってしまうように思われます。気象庁の予想によると今年の冬は、平均気温は平年並みか、高いと言われています。降雪量は平年並みか少ないとのことの中で欲しいと願っております。
渡邊 一博



冬のバラ
2023.12